

日本小児感染症学会若手会員研修会第6回瀬戸内セミナー

瀬戸内セミナーをふり返って

木村 宏*

今年からジュニアチューター制度が導入され、シニアチューターである私の負担はずいぶん軽くなりました。深夜（明け方？）にまで至る徹底討論についていくのは難儀でしたが、今年は12時過ぎには就寝することができ、天国のようでした。グループDは成育医療センターの木下典子先生の潑刺とした指導の下、充実した事前・本番・事後討論（論文作成）ができました。事後討論のときに、丁度、EV-D68の流行と弛緩性麻痺・重症

気管支喘息の発生があり、グループDのメーリングリストでも話題になりました。メンバーの豊福悦史先生・幾瀬樹先生が、それぞれ埼玉・山形からのEV-D68の分離例の報告をいち早くIASRに行ったことは印象的でした。本セミナーで培った「人の環」を元に情報交換し、論文作成で学んだ「発信すること」を実践してくれたことがとても嬉しかったです。

* * *

* 名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学